

東京都神津島村議会

(事績 2) 住民に開かれた議会

・神津島村 CATV(自主放送)による議会情報公開

住民に開かれた議会を目指し、神津島村 CATV(自主放送)において、村の重要な課題は何かを村民に知っていただき、情報の公開と共有を図り、開かれた議会づくりを進めています。

自主放送テレビは、ご覧いただくための難しい操作はなく、村民が誰でも視聴することが可能です。

議会に関心のなかった村民や、関心はあったが議場に足を運べなかった村民の方に行政や議会への関心を高めることができます。

・高校生の議会傍聴

神津島の次世代を担う高校生に、社会教育の一環として議会傍聴を受け入れています。

選挙権年齢が18歳以上となり、高校生に政治や地方行政、選挙への関心を高めてもらうため、議会傍聴を受け入れています。

(事績 3) 地域活性化のため特別な取り組みをした議会

・神津島村 星空保護区の認定

神津島村では、国際的な認定制度である星空保護区の申請を東京都の区市町村では初めて行います。

星空保護区の申請に向け、神津島村星空公園条例、神津島村の美しい星空を守る光害防止条例の制定・施行。夜空が暗いことのほか、屋外照明が一定の基準を満たしていること、夜空を体験できるツアーを実施することなどの要件がある。村内の街灯・防犯灯を改変し、2020年3月末までには全ての街灯・防犯灯が改変されます。

都心から約180キロ南の神津島は、海水浴やダイビングだけでなく、美しい星空を観光資源として見どころの紹介冊子を作成。

また、村民皆様にご賛同頂くため、住民理解に向けた講演会及び神津島村CATV（自主放送）での事業説明などを実施しています。

星空保護区の趣旨である「光害」の抑制に取り組み、村民を対象とした星空観測会や星空ガイド養成を通じて、村民の光害抑制に対する気運醸成を行い、「必要以上の光」が人々の暮らしから、最小限に抑えられるようにしてきます。

自然環境問題等について、学ぶ場づくりや、世界に向けた情報発信をより一層進めて行きます。